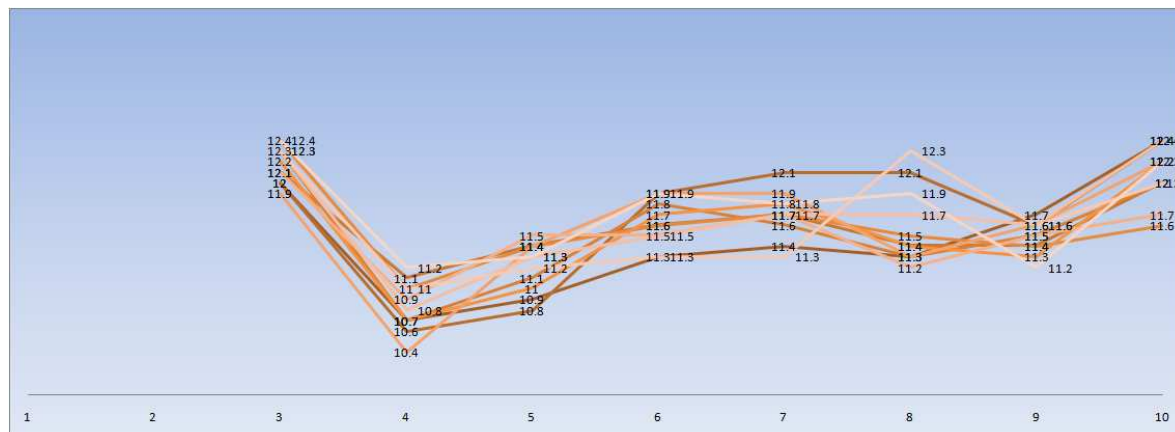


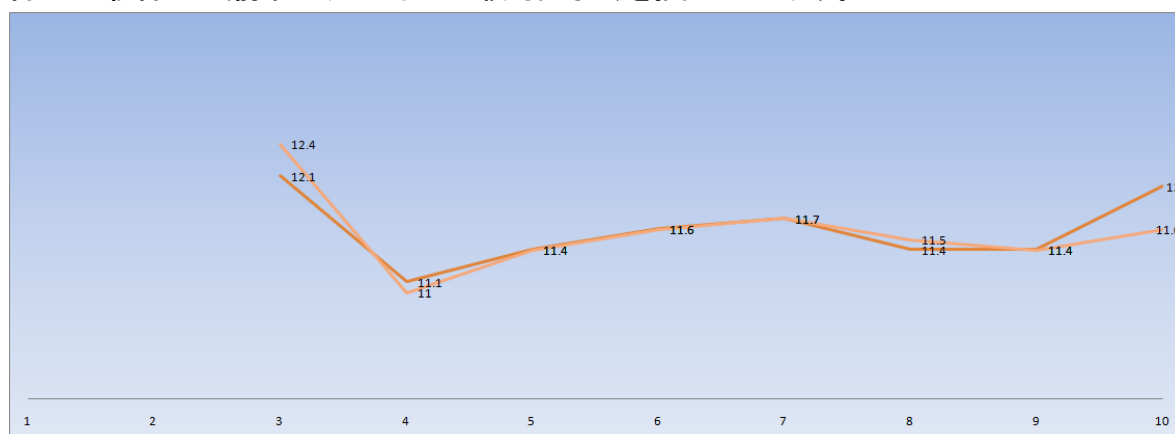
安田記念 2001 年からの線形

年	競馬場名	馬名	芝	別馬場	距離	10f	9f	8f	7f	6f	5f	4f	3f	2f	1f	コ3	コ4	上がり	上平
2010	東京	ショウワモダン	芝	良	1600			12	10.7	10.9	11.3	11.4	11.3	11.7	12.4	10	8	34.60	34.65
2009	東京	ウオッカ	芝	良	1600			12	10.6	10.8	11.9	12.1	12.1	11.6	12.4	7	5	35.70	35.53
2008	東京	ウオッカ	芝	良	1600			12.1	11.1	11.4	11.6	11.7	11.4	11.4	12	3	4	34.00	34.30
2007	東京	ダイワメジャー	芝	良	1600			12.3	10.7	11.1	11.8	11.6	11.3	11.5	12	4	4	34.40	34.55
2006	東京	ブリッシュラック	芝	良	1600			12.4	11	11.4	11.6	11.7	11.5	11.4	11.6	10	9	33.80	34.20
2005	東京	アサクサデンエン	芝	良	1600			12.2	10.7	11	11.7	11.8	11.4	11.3	12.2	8	8	34.30	34.28
2004	東京	ツルマルボーイ	芝	重	1600			11.9	10.4	11.4	11.9	11.9	11.3	11.6	12.2	16	14	34.00	34.85
2003	東京	アグネスデジタル	芝	良	1600			12.1	10.9	11.5	11.5	11.7	11.2	11.5	11.7	9	8	33.70	34.00
2002	東京	アドマイヤコジーン	芝	良	1600			12.3	10.8	11.3	11.5	11.7	11.7	11.6	12.4	2	3	35.40	34.98
2001	東京	ブラックホーク	芝	良	1600			12.3	11	11.2	11.3	11.3	12.3	11.6	12	11	15	34.80	35.38
2000	東京	フェアリーキングブ	芝	良	1600			12.4	11.2	11.3	11.9	11.8	11.9	11.2	12.2	11	11	34.30	34.98



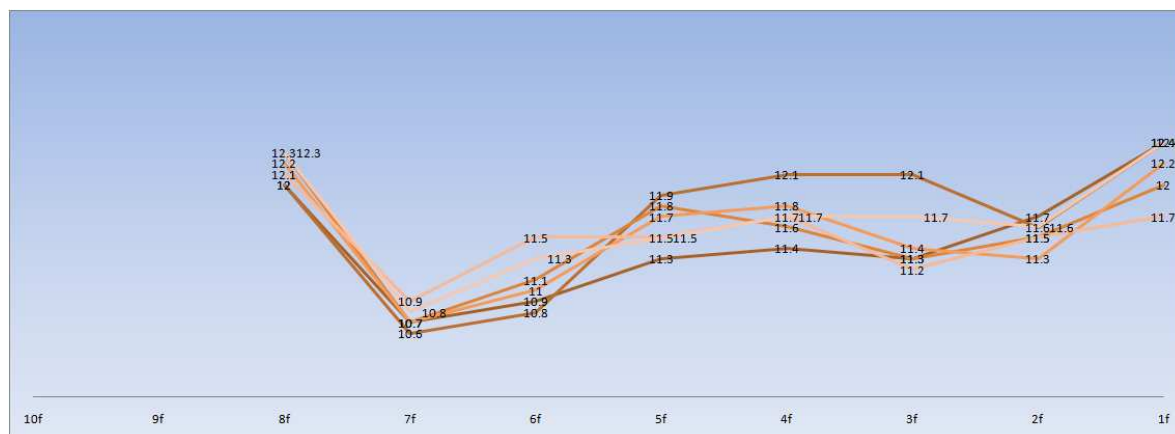
これだと分かりませんねw

スローで一気にペースがあがるレースが少ない感じがします。今回も展開がポイントとなっておりますので、スタート後2F目で11秒台以上(前半だけでみれば比較のおそめ)を抽出してみます。



2008年と2006年のものです。前半がそれほど速くないと平均ペースを刻む流れになっていますね。両年ともに香港勢が連帯しています…うーむ。

では2F目が10秒台突入したら



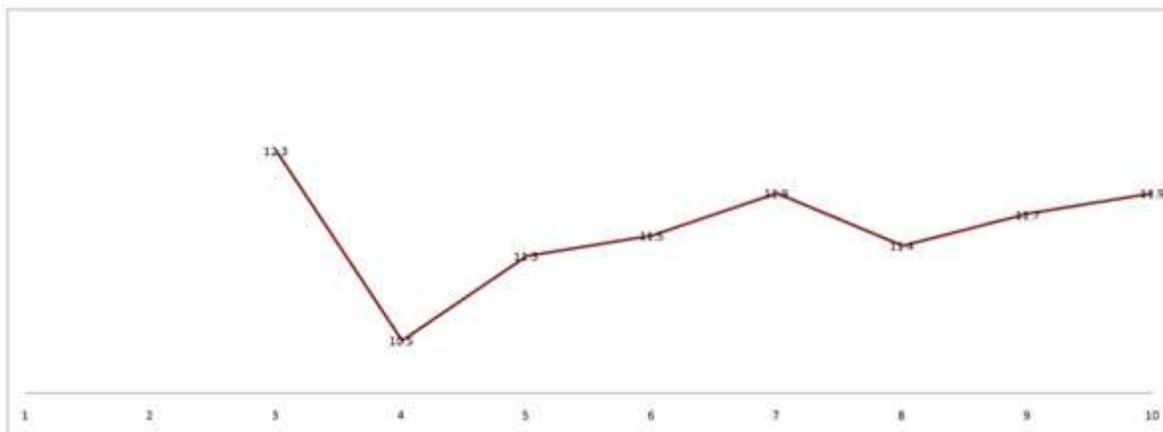
一番上 12, 1 秒台のラップが後半でてきたのが 2009 年ウオッカのとき。

2F 目 10 秒台突入時すると前半早い分ちよっとした緩みが発生するもゴール前3Fで加速という感じです。

いずれにしてもラップ差が非常に少ないレースが多いですね。

各馬の前に代表的な前哨戦を検証。

東京新聞杯

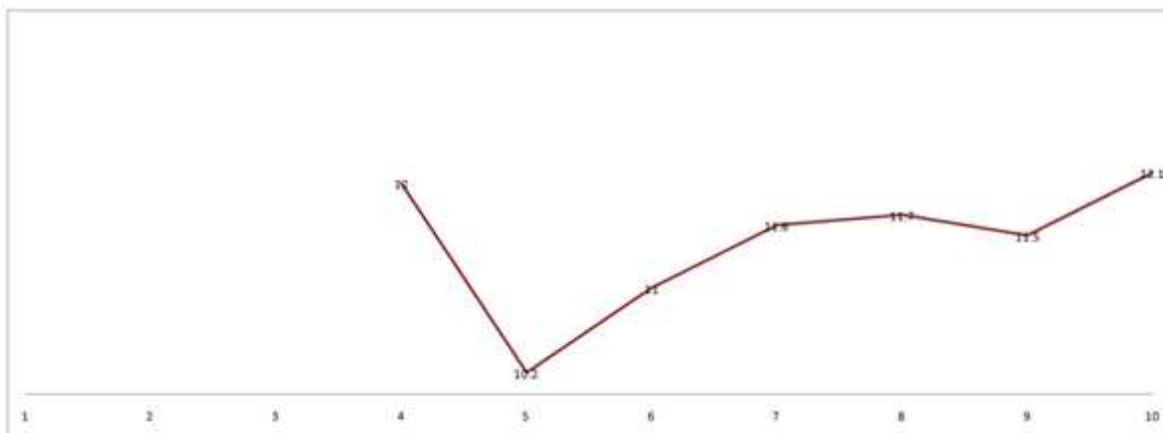


Hペースでの厳しいレース。逃げたのがシルポート。

勝ったスマイルジャックも内容濃いですが、シルポートも0.2秒差6着ですのでその後の活躍が分かりますね。

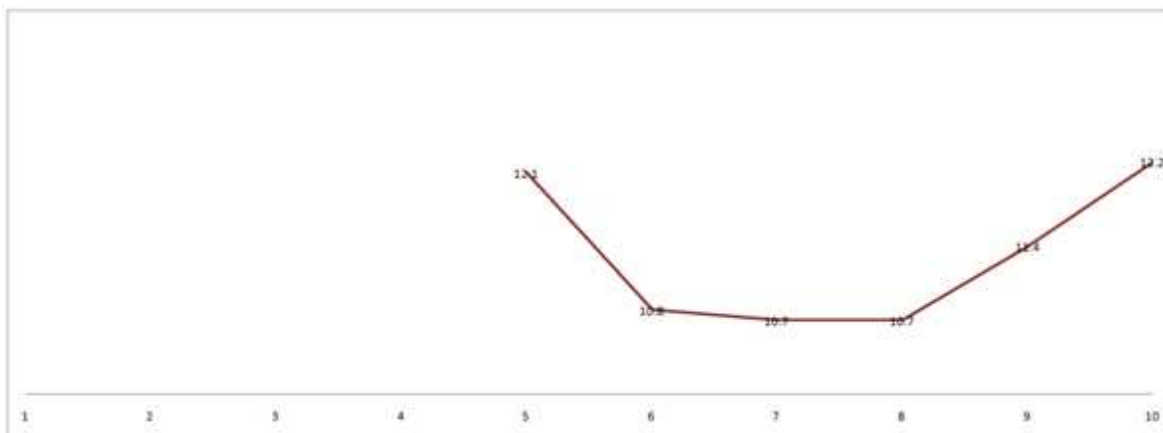
問題がこのレースで1人気で沈んだダノンヨーヨの取り扱い……

阪急杯



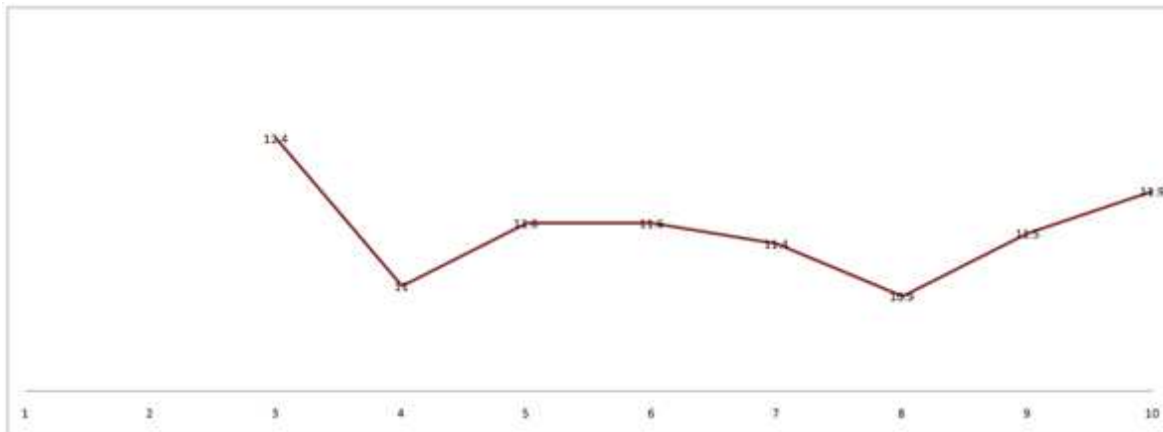
サンカルロが勝ったレースです。10.2は速いですねー このペースを作ったのがコスモセンサーです。その後コスモは逃げやめてますのでこのレースなんだったか？ このレース8番手サンカルロは内容濃いですね。

高松宮杯



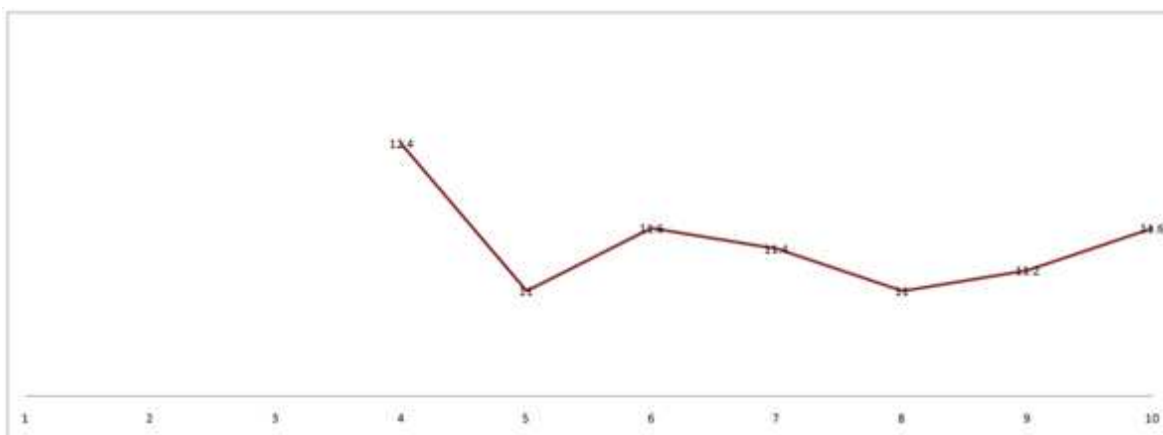
これは凄いラップで逃げています。逃げヘッドライナーが次走大穴もうなずけます。安田記念との関連性は……？

マイルーズC



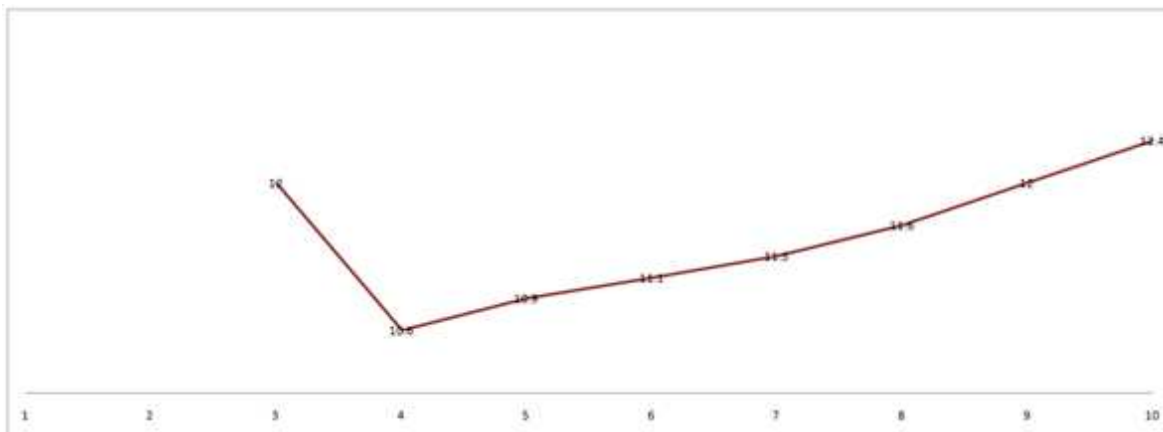
シルポート、ダノンヨーヨ、アパパネ、スマイルジャックなどなどが出走。スローに近いですがシルポートが上手く乗ったレースです。8F目 10.9 のところでセーフティリードを保ってそのままゴールへ。前にいる馬が優位ですね。

京王杯

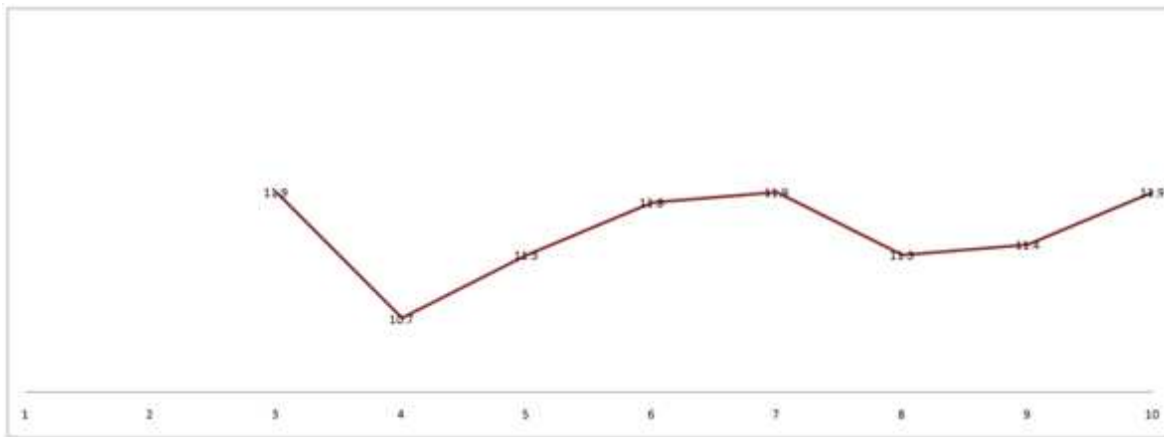


マイルーズカップと類似線形といっても良いかと思います。シルポートの完全なリズムで、1400としてはスロー。焦点は本番が同じような展開になるかどうかです

ビクトリアマイル



すざまじいラップですね。ちょっと出現しないレース。前にいたのがきついレース。アパパネは 11 番手あたりとやや後方でした。ですが 10.5→10.9→11.1 の厳しい展開で終始外追走で、コーナも外回りでした。最内ぴったりのレディアルバローザとは力の差が相当あった感じです。ブエナビスタが完全アパパネマーク。これを先に動いて凌いでいます。今回のメンバーであれば完全に力が上だと思います。反動あるかどうかだけではないでしょうか。後は超スローのときですね。



こちらは前半早めも中断やや緩んだレース。平均ペースといった感じです。ちょっと遅めに分類した方が良いのかもですね。

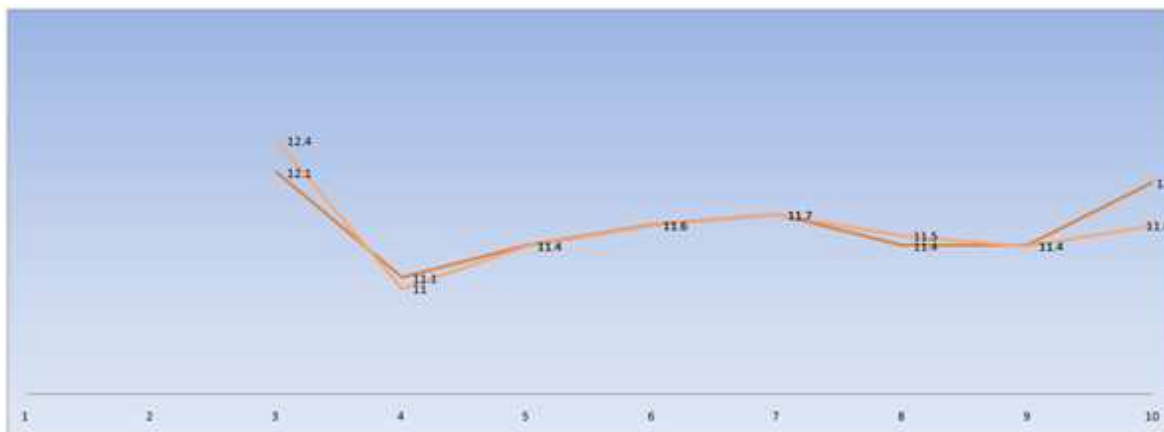
では前哨戦をまとめると

<H ペース> ビクトリアマイル、東京新聞杯、阪急杯

アパパネ、スマイルジャック、サンカルロ

<スローペース> 京王杯、マイラーズC となります。

G1 だけにシルポートが得意なスローまで持ち込めるかが焦点。最近の私の予想は展開が真逆になるのであれば・・・スローな安田記念にはどうか？展開としては



な感じに。11 秒半あたりのラップを刻むレース。レース上がりが 35 秒切るくらい。平均ペースのなか上がりが確実な馬からで。

- ◎アパパネ ビクトリアマイルはブエナとともに他馬とは別レース。スローになっても府中なら
- スマイルジャック スローより厳しいラップ展開の方がハマるタイプ。
- ▲サンカルロ こちらも厳しいラップの方が良さそうです。
- △ダノンヨーヨ マイラーズで意外な先行。(後ろから 5 着くらいがいいのに・・・)常時上がりが強烈。
- △香港勢 どちらかは絡むか？
- △リーチザクラウン

たらっとしたスローになるのであれば

- ◎ジョーカプチーノ
- ストロングリターン
- ▲シルポート
- △ダノンヨーヨ

>> アパパネ、スマイルジャックからで行きます